

2月21日(火) @国際交流会館ホール

15:00-15:30 開会(顔合わせ、自己紹介、諸連絡)

15:30-16:30 ポスターセッション1(奇数番号)

1. 小林 壮生 (M1, 福井県立大) 「ヒロハノマンテマの性は WUS と CLV3 のコピー数比率で決まるのか」
3. 生駒 拓也 (M1, 福井県立大) 「シロイヌナズナで遺伝子量補正は起きるのか」
5. 中野 悠平 (M1, 福井県立大) 「Targeted Amplicon Sequencing による国内コムギ品種の深根性遺伝子 DRO1 の多型解析」(ポスター掲示のみ)
7. 黛 隆宏 (M1, 福井県立大) 「重イオンビーム照射で得られたフリル変異体の花卉の形態変化」
9. 杉田 和陽 (M1, 福井県立大) 「シロイヌナズナの新規染色体部分的重複変異体における遺伝子発現変動とクロマチン動態」
11. 畑中 悠那 (B4, 福井県立大) 「接触刺激により色が変わるナデシコの開発」
13. 石田 諒 (M1, 東京都立大) 「Measurement of the rate of mini-chromosome loss induced by a DSB」

16:30-16:45 休憩

16:45-17:45 ポスターセッション2(偶数番号)

2. 加藤 雄大 (PD, 東京都立大) 「*Drosophila obscura* の性比異常現象における原因因子の探索」
4. 小川 雅文 (M2, 東京都立大) 「種間雑種で性染色体の進化過程を明らかにする」
6. 佐藤 伶圭 (M1, 東京都立大) 「ショウジョウバエにおける Y 染色体消失過程の解明 ~Y 染色体遺伝子の転座と獲得に着目して」
8. 内田 友夏 (B4, 東京都立大) 「ショウジョウバエを用いた Y 染色体の毒性の検証」
10. 唐木 書子 (B4, 東京都立大) 「アサヒナショウジョウバエにおける B 染色体の機能および性染色体との関連」
12. 佐々木 優基 (B4, 東京都立大) 「*Drosophila neoasahinai* が雑種起源である可能性の検証」
14. 細野 真由 (B4, 東京都立大) 「Alternative clamp loader CTF18 promotes cohesin-loading to ensure sister chromatid cohesion establishment」

17:45-18:30 翌日の準備

18:30-19:00 懇親会会場へ移動

19:00-21:00 懇親会(日本一周)

2月22日(水) @国際交流会館小会議室

第1部

- 9:00-9:05 開会あいさつ
- 9:05-9:30 野澤 昌文「ヒゲジロショウジョウバエの Y 染色体消失を可能とした進化経路の推定」
- 9:30-9:55 阿部 拓也「ミニ染色体の解析から予測する性染色体の未来」
- 9:55-10:20 風間 裕介「ヒロハノマンテマの性決定遺伝子 *GSFY* はどのように誕生したのか？」
- 10:20-10:30 休憩

第2部

- 10:30-10:55 桂 有加子「ツチガエルでの XY/ZW 染色体の入れ替わり機構の解明に向けて」
- 10:55-11:20 井川 武「ネッタイツメガエル近交系から XY/ZW 染色体の入れ替わり機構を探る」
- 11:20-12:20 特別講演：川口 茜（遺伝研）「巨大染色体の相互作用地図から我々は何を学ぶのか：染色体制御の普遍性と特殊進化の理解に挑む」
- 12:20-12:25 閉会あいさつ